

福島南ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

国際ロータリー会長 BARRY RASSIN (バリー・ラシン)

国際ロータリー第 2530 地区ガバナー 平井 義郎

福島南ロータリークラブ 会長 吉田 和義 幹事 一條 浩孝
目標「例会を楽しもう」

会員/75名 出席/51名 出席率/68.00%

メークアップ/24名 修正/75名 修正後率/100%

会長挨拶 吉田 和義 会長



家族納涼会は、当日の最高気温が 38 度を超える酷暑にも関わらず、大勢の方々に参加頂きありがとうございます。SAA・親睦活動委員会・お手伝いの会員には会場準備・設営ご苦労様でした。

成蹊高等学校より今年度の奨学生の推薦書が届きましたのでご報告します。

- 1 年生（文理選抜コース）金山歩夢君、クラスではホームルーム長としてクラスメイトから厚い信頼を得ている学業優秀な生徒、IAC 所属でボランティア活動にも参加しております。
- 2 年生（普通文化系コース）一條花乃さん、学業優秀 1 学年時の中間考査でトップ、期末考査でも上位、IAC 所属で生徒の模範となっております。
- 3 年生（普通国公立コース）黒澤佳奈さん、誠実な人柄で成績もよく模範生、茶道クラブと家庭研究クラブに在籍しております。

以上 3 名を推薦書通り今年度の奨学生とする旨を成蹊高等学校へ連絡しました。

奨学金授与式は 8 月 29 日の例会で行う予定です。

次に、成蹊高等学校 IAC・喜多方桐桜高等学校 IAC 交流会を 8 月 21 日実施します。地区補助金を活用しての事業となっております。

成蹊高校 38 名、桐桜高校 12 名、福島南 RC 8 名、喜多方 RC 7 名合計 65 名参加、福島より喜多方へバスで訪問します。

喜多方では特養ホーム（佐原 PG 経営）有料老人ホーム（鈴木直前会長経営）で清掃・慰問活動を行います。昼食後インターアクト交流会を開催します。

インターアクト年次大会・喜多方交流会の報告は 8 月 22 日の例会で成蹊高等学校 IAC の学生が発表する予定となっております。青少年奉仕活動は今年度の重点課題です、IAC 活動の他 RAC 共同提唱に向けて準備委員会を設立する予定ですので会員の皆様のご理解とご協力よろしくお願いたします。

ロータリーの友よみどころ 河谷 元 会員



今月のロータリーの友の読みどころを紹介させていただきます。今月の横ページは特集として会員増強の可能性、次に女性会員増強・維持について書かれております。

実に論理的にまとめられておりまして、ロータリークラブのみならず他の場所においても大いに参考となりそうな記事となっております。内容としまして、日本人だけが集まった時の視点とはいささか違う視点が見られます。続きまして縦ページでは 20 ページに「卓話の泉」が掲載されております。ここにコンピュータ囲碁の話が出ておりましたので、つい興味を引かれてしまいました。あとは是非ご自身でお読み頂きたいと思っております。

ターゲットの贈呈



吉田和義会長から横山りつ子直前会長へ、ターゲットが贈呈されました。

福島南 RC 創立 50 周年記念式典
祝賀会実行委員会組織発表



菅原節子実行委員長より、実行委員会組織が発表されました。

ゲストスピーチ 金水晶酒造店 代表取締役 斎藤 美幸 様



福島市唯一の造り酒屋 創業 123 年の金水晶酒造店の 4 代目社長斎藤美幸様がゲストスピーチをして下さいました。プロフィールは下記の通りです。

福島に生まれ、福島市立松川小学校→福島大学附属中学校→東京学芸大学附属高校→東京大学教養学部へ進まれました。東京大学を卒業後、フジテレビへ入社。その後、福島テレビへ移籍し、記者や報道ディレクターを務めました。東日本大震災後、2015 年 4 月より実家の蔵元を継ぐため東京から帰郷しました。

演題「日本酒は故郷の誇り」

本日はこの様な会でのスピーチのお時間を頂き誠にありがとうございます。福島県の日本酒は本年史上初の 6 年連続金蔵数日本一となりました。全国新酒鑑評会は 1911 年に始まる全国規模の鑑評会でした、日本酒の味や品質の善し悪しを判定するものとなります。初期は大蔵省が主催しておりましたが、現在は独立行政法人酒類総合研究所と日本酒造組合中央会との共催となっております。福島市民は日本酒の「消費金額」が県庁所在地の中で第一位となっており、日本酒の美味しさを知っているといえるでしょう。



ですが近年、日本酒消費量と蔵元は減少が続いています。日本酒消費量のピークは 1973 年となっており、現在は 3 分の 1 程度の消費量まで激減しています。造り酒屋は昭和 15 年に約 7,000 件ありましたが、平成 30 年実稼働数は約 1,200 件と推定されております。福島県酒造組合加盟は昭和 30 年に 155 軒、平成 10 年に 98 軒、そして現在は 63 軒となっております。福島税務署管内では昭和 30 年代に 8 軒存在していましたが、現在は福島市に金水晶酒造店 1 軒となります。

金水晶酒造は明治 28 年に創業し、今年で 124 年の造り酒屋となります。金水晶の由来は明治天皇に献上した水晶沢から湧く金明水で醸造を始めたことに由来します。受賞歴としては、金水晶大吟醸が全国新酒鑑賞会 2 年連続 12 回目金賞受賞、金水晶純米吟醸が「夢の香：部門一位県知事賞。今年は純米酒部門と W 金賞を受賞。金水晶純米酒が純米酒大賞 2 年連続金賞。おらが純米はワイングラスでおいしいアワードメイン部門金賞その他、受賞多数となっております。製造銘柄は金水晶の他、みちのく霊山・小手姫・古寿琴コスキン・木幡山・摺上川となります。

金水晶酒造店を継いだ理由としては、福島唯一の造り酒屋を守りたいという思いからでした。

金水晶酒造店を継いでから気づいたこととして、気候・風土・歴史など魅力を詰め込める媒体 (ex 摺上川なら飯坂の話に、金水晶なら福島の話に) であるということ。コミュニケーションが取りやすい媒体であること。地酒は経済を回す力になり、原料を輸入に頼る必要が無いということ。地酒が子どもたちの共通の思い出となること。そして「こんな時こそ頑張らなければ」という言葉の意味を理解できたと考えています。

これからの銘柄発売としては、9/3 ひやおろし・10/1 金水晶純米吟醸しずく搾り・11/1 金水晶大吟醸しずく搾り・12/1 金水晶吟醸初しぼりとなります。

今後共どうぞ金水晶酒造店を宜しくお願い致します。ご清聴頂き、誠にありがとうございました。

— 今後のプログラム —

- ・ 8 月 29 日 (水) 成蹊高校奨学生へ奨学金授与式
- ・ 9 月 5 日 (水) 移動例会(たまのやこころ斎苑黒岩)
- ・ 9 月 12 日 (水) 第 2 回ガバナー補佐訪問

— 8 月 22 日 (水) の例会プログラム —

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 開会点鐘 | 9. 新会員スピーチ 菅野会員 |
| 2. ロータリーソング | 10. 新会員スピーチ 斎藤会員 |
| 3. 四つのテスト唱和 | 11. 各委員会報告 |
| 4. 来訪者紹介と会長挨拶 | 出席委員会 |
| 5. 財団・米山表彰 | ロータリー財団 |
| 6. スマイルBOX 報告 | 米山記念奨学会 |
| 7. IAC 年次大会報告 | |
| 8. IAC 喜多方交流会報告 | 12. 閉会点鐘 |

— 地区情報・第一分區・関連情報 —

- ・ 8 月 25 日 (土) 会員増強セミナー
- ・ 8 月 26 日 (日) 米山記念奨学会委員会セミナー
- ・ 9 月 1 日 (土) ~ 9 月 2 日 (日) 米山梅吉記念館研修旅行
- ・ 9 月 1 日 (土) 地区公共イメージチーム・IT チーム合同セミナー